

新入生応援

BOOKS
KINOKUNIYA

紀伊國屋書店
営業推進本部
ブックセンター課

新入生へおくる
プロフェッショナルからのアドバイス。

- プロフェッショナルインタビュー
- 検定・資格特集
- 大学生活ってこんなもの



BOOKCENTER NEWS
紀伊國屋書店ブックセンターニュース

2004年 **春** 7号

新入生応援



INDEX

6 …… プロローグ

特集 プロフェッショナルインタビュー

8 …… アサヒビール 常務取締役 泉谷 直木さん

10 …… 朝日新聞社『AERA』副編集長 長友 佐波子さん

12 …… テレビ朝日 人事局人事部長 木村 寿行さん

14 …… 日本郵船 人事グループ人事チーム 抜山 尚子さん

16 …… JALUX 取締役 塩野谷 住雄さん

18 …… 日経エンタテインメント! 発行人 品田 英雄さん

20 …… 社会福祉法人プシケおおた 今村 まゆらさん

22 …… 直木賞作家 海老沢 泰久さん

検定・資格特集

26 …… 公務員の種類

27 …… 簿記について

34 …… 資格・就職本ランキング

35 …… 資格スケジュール

38 …… 大学生活ってこんなもの：学生の実態調査

40 …… 東海大学ブックセンター紹介

41 …… 近畿大学梅の木ブックセンター紹介

42 …… 紀伊國屋書店新宿本店

43 …… 紀伊國屋書店札幌店

44 …… 紀伊國屋書店広島店

45 …… 新刊紹介

46 …… 編集スタッフのお薦めの本

48 …… ブックセンターニュース配付先

がんばる大学生に朝日新聞



朝日新聞の
大学生向け
会員サイト

朝日新聞



役立つ情報&
購読ポイントサービス <http://www.asahi.com/zest/>

大学生生活に新聞は不可欠！ 朝日新聞のクラブ・ゼスト

「新聞くらい読まなくちゃ」と分かっているけど、なかなか読むクセがつかなくて…
そんな悩みを解決するのが朝日新聞の「Club Zest」。
朝日新聞を購読するだけで入会できる
大学生購読者限定のWebサイト&ポイントサービスです。

大学生活を充実させるコンテンツが盛りだくさん

朝日就職塾	News NAVI	わくわくZesters

他にもたくさんのコンテンツがあります。

購読ポイントサービス

400 points ヨーロピアンジャンボトートバッグ

400 points くるくるイヤホンAM/FMラジオ

お好きな景品と交換
会員になると、購読1ヶ月ごとにポイントがウェブ上に貯まります。貯まったポイントはウェブ上の景品と交換。読めば読むほどお得です。

Zestポイントの貯め方

貯め方	ポイント数
①入会ポイント	50
②毎月の購読ポイント	20
③購読料を自動振替にした場合	5
④ボーナス月(5月・10月)	上記②③を2倍

お申し込みはインターネットから

www.asahi.com/zest/

会費 無料

[会費はいっさいかかりません] 支払うのは通常の新聞購読料のみ！ 入会に関する入会料や会費などは、まったくかかりません。すでに朝日新聞を購読している人も、これから購読しようと思っている人もOKです(メールアドレスが必要)。家族と一緒に購読の人も入会できます。

お問い合わせ:朝日新聞 東京本社 クラブ・ゼスト事務局 E-mail:info-zest@asahi.com



略歴
1972年 入社
1975年 広報部長
2000年 執行役員・戦略企画本部長
2001年 執行役員・東京支社長
2003年 取締役
2004年 常務取締役

泉谷さんの会社についても教えてください。アサヒビールの売り、こだわりは何ですか？

アサヒビールの売りは、「フレッシュ」と「お客様目線」です。うちの商品は店頭で並ぶのが早いです。それは缶の裏を見ていただければわかります。どんな商品を作る時でも、みなさんの意見を聞きなが

最後に新入生に一言お願いします。人間は、肉体的にも、精神的にも弱くなっているそうです。不安、不信、不満。人は、この三つのFを喋ると仲間意識が強くなる。学生も大人も同じです。そのときに、前向きに解決して

泉谷 直木さん お薦めの本
●デール・カーネギー著 『道は開ける 新装版』(創元社)
●デール・カーネギー著 『人を動かす 新装版』(創元社)

くわかります。これだけ豊かな日本でさえ、お金がなかったらどれだけ人に世話になり、どれだけの人に頭を下げねばならないか。行ってみなければ気が付かないでしょう。「やりたいこと」の少なさをまず知ること
好奇心を持つためには、毎日、新聞を一面から読むことです。それで、読みながら「これは何だろう」と考える。
あとは、自分のやりたいと思っていることを大きな紙に書いてみてください。いかに自分のやりたいことが少ないかが良くわかるはず。それは、好奇心が少ないということ。現状を知ること大切。

今年のが社のテーマは「すべてはお客様のうまいのために」です。お客様がおいしいと言ってくることが、私たちの最高の喜びです。我々は、お客様が一本一本買ってくれるおかげでもっている会社です。それから、皆さんが、我々の会社を支えているわけです。私たちはそういう関係で商売をしているので、クレームを言っただけで、注文もしてもらいたいです。我々はそれを聞いて、次の商品に活かしていきます。うちの会社は、単に商品の集まりだけではありません。「お客様と一緒に幸せになりたい」という気持ちでやっている会社です。アサヒビールの考え方は、「お互いにハッピーになりませんか？」という付き合いなんです。

いこうとする悩み方をするのか、それとも仕方が無いという後ろ向きな悩み方をするのか。この差は大きい。ちよつと逆風が吹いてくると、みんな後ろ向きに悩んでしまいます。ですが、新入生の皆さんは前向きに悩んでください。
あとは、社会に出るといつも順風満帆、きれいに帆を張って前に進めるわけではありません。当然何回も挫折します。しかしそれは、自分で超えていかなければなりません。もちろん、誰かがどっかで見てくれていて、苦しい時にはフツと人が現れ助けてくれるんです。世の中というのはそういうありがたいものがあるということを知ってください。(高橋真吾)

アサヒビール 常務取締役

いずみや なおき
泉谷 直木 さん

浅草のビールジョッキの形をしたビルの中で、取締役の泉谷さんに学生へのアドバイスを頂きました。



大学生とはどのような立場だと思われませんか？

学生は、親に面倒をみてもらっているが、体は大人。世間も一応は大人と認めてくれる。そういった意味で、非常に中途半端な存在です。だけど、学生の目線ってというのがある。学生にしか見えないことや、学生だからできることがあります。その時期って、そこしかない。大切にしてほしい時代ですね。

学生時代に学んでほしいことは何ですか？

時代は「金太郎」から「桃太郎」へ今求められているのは、「桃太郎軍団」です。昔は「金太郎アメ集団」といって、みんな同じものの考え方・同じ行動を求められていました。しかし、現在は様々なことをこなす必要がある。金太郎というリーダーが転ぶとみんなが転んでしまう、これまでのやり方では通用しない時代なのです。だから、犬・キジ・サル・桃太郎がチームになって戦うことが必要なのですね。皆さんには、学生時代からこのことを意識してほしい。
桃太郎軍団を作るためには、三つのことをしてほしい。一つは、本物に触れること。インターネットなどにより、現在は疑似体験社会になっています。頭で悩んだり、泣きじゃくったり、怒りまくったり、という人間が体の五感で感じる体験が少なくなりました。今の生活では、感動がありません。だから、心で感じるといふことをやってもらいたい。そのためには、勉強もさることながら、いろんな人に会い、本物に触れてほしい。
二つ目は、何に対しても、行って

やろう、やってやろうという好奇心を持つことです。動かすに、ちよつと調べてわかった気になるのはいけない。何でもやってみてください。
三つ目は、自分で生きていくという自立心を持つことです。中学・高校でもそうですが、大学に入ってから、仲間だけでしか生活できない人が多いですね。さらに、その仲間同士の接点も、だんだん携帯電話だけになってきています。もつと大きな世界で自立心を持つことが大切です。いつまでも人を頼る人生はやめて、自分で生きるようにしましょう。自分の人生なんだから。
自立心、好奇心を持つためには何をすれば良いですか？
一人旅で自立心を養う
自立心を養うためには、お金を持たずに、知らない土地を一人旅することですね。人のありがたみ、お金のありがたみがわかります。夏休みの時間を使って、一週間やってみてください。どうやって自分が生きなければならぬかがよ

落ち込んだときは、どうやって対処なさっていますか。
 仕事の失敗は仕事で取り返す
 仕事をします。仕事の失敗は、仕事でしか取り戻せないんですよ。仕事でうまくいかないことがあつ

つづきのまにかネタを探しているという点では、24時間お仕事なのかもしれないですね。「愚痴言う暇があったら、ネタ探さなくちゃ」って感じですね。
 一時期、昔からの友達に「長友と会おうと全部ネタになっちゃう」と会おうのを嫌がられたこともあり。別にそこから直接書くわけじゃないんですけどね。すべてがネタだと思われちゃうみたいで。



朝日新聞社『AERA』副編集長 ながとも さわこ 長友 佐波子さん

3月まで『AERA』の副編集長として活躍なさっていた長友さんに、朝日新聞社内の喫茶室にて、お仕事や学生時代についてのお話を伺いました。



『AERA』でのお仕事はどのようなものでしたか。

『AERA』の副編集長で、デスクという立場です。六人の部長とフリーランスのライターの原稿を見る係でした。まず企画があつて、ライター・デザイナー・デスクでビジュアルを決めます。それから、どういう内容にするか、どこに取材するかなどの全体的な方向性を決めます。部員やライターが原稿を仕上げたら、訂正を入れたり、見出しをつけたりします。これが主なデスクの仕事でした。週刊誌な

ので、今週号を作りながら、来週号・再来週号の仕込みもします。それから、年に数回、臨時増刊号も出していました。

すごくパワフルでいらっしやいますね。パワーを感じます。

感じます？この仕事に就きたいんだったら、体力だけです。たぶん同じくらい優秀な人がいたら、体力のある方を採ると思います。

あと、へこたれない力が必要ですね。私が入った当時は、男女雇用機会均等法の施行から二年目だったんですね。その頃はまだまだ常態に女であることで差別されました。さすがに今はそういうことはありません。

また、男女関係なく、すごく厳しくきつく言われる割に、誉められることも少ないという時代でした。

それに、他社との競争で「抜いた」「抜かれた」の争いがあります。新聞社はいくつもあるから、勝つことの方が少ない。負けることが多い中で、「負けてはいけない」というプレッシャーがありました。

世のためになる仕事に必要な「気

力」「体力」

すごく忙しい、考える時間も少ない、人格を否定するような言い方もされる。大変なんです、やっぱり。そこでくじける人もいます。「自分の仕事、社会的にどういう意味があるんだろう」とってわからなくなっちゃうんです。

例えば、事件や事故の現場に行つて、遺族の方に話を聞かなくていい。苦しんでいる人のところにお話をうかがいに行つて、「来るな」と追い返される。でもデスクからは「なんで写真撮つてこないんだ」と怒られる。

今自分がやっている仕事は、短いスパンで見ると、すごく人様を嫌がらせている。だけど、自分は世のためになる仕事をした。そういうところで、精神的なタフさが求められるので、気力と体力、両方必要です。

一日24時間お仕事という感じですか。

聖人君子ではないので、24時間ということはないです。でも、どこにいても何をやっていても、い

略歴
 1988年朝日新聞社入社。
 秋田支局勤務後、
 本社学芸部に家庭面を3年担当。
 95年に『AERA』編集部へ異動。
 2004年4月より文化部に異動。

長友 佐波子さん お薦めの本

- 『論語』孔子
- 『枕草子』清少納言

たときは、仕事から逃げると、よけいうまくいかない。「捨てたもんじゃないな」って瞬間は、一生懸命やっている時にしか来ないです。

今までで印象に残っているお仕事をお話してください。

2000年に季刊で『AERA』の女性向け臨時増刊を作ったんです。30代のシングル女性を主なターゲットに、「女性の女性による女性のための増刊」みたいな感じで、生き方・ライフスタイルについてまとめた。これが一番印象に残っている仕事です。

自分で全部企画を立てて、誰に書いてもらうかも決めて、ビジュ

アルもデザイナーと相談して決めました。ゼロから作ったので大変でしたが、とても楽しかったです。「結婚」「恋愛」「健康」「仕事」「転職」という5つのテーマを発行し、文庫にもなりました。

どのような大学生でしたか。

学生時代は、国際関係のゼミに所属していました。ゼミでは真面目に勉強していましたが、大学からはじめた剣道の同好会がハードだったこともあって、一般教養は、さぼりまくりましたね。

私は、大学に行くのは社会勉強のためだと思っていました。友達を作つて、いろんな人と会う。ありあまる時間を使つて、いろんなことをできればいいな、と考えていました。

アルバイトなどはされていま

バイトは定番の家庭教師ですね。あとは、大学の入試の事務局で、受験期だけ事務方のバイトをやっていました。他にも、縦の列と横の列の膨大な数字をただ足してい

くという、単純計算のバイトもしました。昔はコンピュータがなかったですからね。いろいろやりましたが、さすがに工事現場のバイトはしませんでしたけれど。しておけばよかったと思うんですけどね。でもきつと女の子は入れてもらえなかっただろうな。

学生時代のうちにやっておくべきことはありますか。

本を読んでください。人間、自分で体験できることは限られているので、本による追体験はとても大事だと思います。物事をひとつの見方ではわからないと、いつも同じ発想になります。基礎力の引出しがどのくらいあるかによって、見えてくるものは全然違います。器を広げるといふ意味で、教養を身につけてほしいです。

直接的に実学じゃないものでもかまいません。社会人になってから勉強するのは難しい。時間のあまる学生時代にこそ、無駄と思うものも、ジャンルを問わず読んで方がいいと思います。

(降旗愛子)



略歴

1972年 テレビ朝日に入社
営業、広報を経て、
1976年 制作局。主にバラエティー番組を数多く手がける。
1991年 編成局へ移り、企画担当。
1999年 人事部へ異動。

うことになるかもしれませんが、それはそれでいいと思います。

新入生にメッセージをお願いします。

今からできることを見つけよう
学生という時間はいろんな可能性があり、恵まれた時間だと思います。その時間を大事にして欲しい。時間があるからといって、合コンやパチンコ、麻雀などの享楽、娯楽ばかりをしていたら、それは、もったいない時間の使い方だと思います。その若さだから出来ることもあるわけで、その時にしか出来ない事があると思います。それを自分で見つけ、思い切ってみてください。

私は、学生の時に海外の色んな国に行ってみたくて思っていました。残念ながら当時は旅費が高かったこともあり、思いは叶いませんでした。もし、学生に戻れるのであれば、たくさんの国を訪ねてみたいと思います。

社会人はみんな、出来ることなら学生時代に帰りたいて思っているのではないのでしょうか。本当に学生は羨ましいと思います。今はそう思

わなないかもしれないけど、とても貴重な時間ですから、後で後悔しないように精一杯、充実した学生生活を過ごして下さい。

木村さんは学生時代の生活をどのように過ごされたのですか？

興味のあることに多くの時間を使った
一年の頃から就職を意識するということにはありませんでした。ただ、昔から好奇心は旺盛でしたので、興味のあること、やってみたくて、事がたくさんあり、勉強よりも、そうした事に多くの時間を充てていたと思います。アルバイトもたくさんやりました。そうしたらいろんな経験が、今の仕事、生き方に繋がっています。今の自分を形成している大きな要因になっていると思っています。

学生生活の中で一番印象に残っているのは、二年生の時に仲間を募って少林寺拳法のサークルを作り、その後、部活に昇格させたことです。ちなみに、その部活は現在も残っており、今でも部員から就職などの相談を受けることがあります。

木村 寿行さん お勧めの本
●金井系一郎著
『瞑想～金井メソッド～』
(大田出版)

(高橋真吾)

テレビ朝日 人事局人事部長

きむら としゆき
木村 寿行 さん

六本木ヒルズのテレビ朝日社内において、テレビ朝日の特徴などを人事部長の木村さんに伺いました。



テレビ業界には華やかなイメージが強いですが、華やかなだけの業界なのでしょうか？

番組制作や編成部門では、タレントさんや著名人と接する機会が多く、華やかな面は確かにあります。しかし、反面、番組は取材、資料を集めたり、編集をしたり、遅くまで会議をしたり等の地味な仕事の積み重ねの上で成り立っています。さらに、そうした製作現場だけでなく、経理、営業、広報などのセクションの方の地道な応援、支援があつて、はじめて番組が成り立っています。

就職活動で一番大事なのは、自分を知ることです。つまり、自分が何をやりたいのか、自分は何か好きなのか、自分が何に向いているか等を知る事です。そのためには、自分と正直に向き合う事です。

自分と向き合う為には、私のように幅広い道から入る方法もあるし、逆に、一つの事を突き詰める方法もあります。どちらにしても、一途に突き進んで欲しいと思います。そうすれば、いろいろなる事が見えてきます。それで成長していきます。

学生は失敗しても、引き返せます。

最後に、テレビ朝日という名前は誰でも知っていると思うのですが、テレビ朝日の特徴は何でしょうか？

テレビ朝日は他の局がドラマ、バラエティー番組を放送している時間帯である平日の22時から「報道ステーション」を編成しています。この番組がテレビ朝日のカラーを作るうえで大きく貢献していると思います。ただ、若い視聴者にもテレビ朝日を見て欲しいので、ドラマやバラエティー番組にも力をいれています。具体的には平日23時から毎日放送しているバラエティー番組も大事な柱の一つです。

報道情報に関しては、テレビ朝日の財産なので、大事にしながら、エンターテイメントも頑張っていこうという方向性です。

そういう意味でテレビ業界は決して華やかな面だけではありません。地味な部分がテレビ業界にはあるというところを、見ている視聴者、学生には知ってもらいたいです。

木村さんのご経験から、学生にアドバイスをお願いします。

まず、世間体が格好いいとか、華やかだというのは、自分の視点ではなく、他人の視点ということに気づいてください。それに気づかず将来を選択すると、失敗する確率が高くなります。

就職活動で一番大事なのは、自分を知ることです。つまり、自分が何をやりたいのか、自分は何か好きなのか、自分が何に向いているか等を知る事です。そのためには、自分と正直に向き合う事です。

これは学生の持っている特権です。社会人になると、イメージが大きいので慎重になってしまいます。だから、学生は臆病にならずに、たくさんの事にチャレンジしてください。

木村さんが学生時代に学ばれたことはなんですか？

将来を悩む前に目の前の学問を
私は、人の心の働きとかに関心があり、大学では心理学を専攻しました。放送の世界を選んだ理由も、テレビが好きだったということもありますが、基本的には人に対しての関心が強かったことが影響していると思います。

自分の将来、どういう仕事につくのが良いか考えるのであれば、自分が関心のあること、興味のあることを一つの手がかりにすればいいと思います。具体的には、自分が選んだ学部、専攻は関心のある部分でしょうから、そこから掘り下げ、自分を見つめ、本当は何がやりたいのか、どういう道に進みたいのかを追求していけばいいと思います。もしかしたら、自分が本当にやりたいことは自分が選んだ専攻科目とは違うとい



略歴

1991年4月 日本郵船株式会社入社。
主計部、財務部を経て、現在に至る。

会社側から学生に見てもらいたい
ところはありますか。

それでは飛行機やトラックにはない船のメリットは何でしょうか。
一つ目は、まだまだ飛行機では運べないものがあるという点です。たとえば原油やLNGなどの液体、石炭などの重いものなど、船でしか運べないものはたくさんあります。二つ目に、船は、東京タワーを横に倒したくらいの長さ(約300メートル)があるほど大きいので、大量に、一度に運ぶことができます。点は、飛行機とは比になりません。そういった意味で、輸送コストが格段に異なり、コスト競争力があります。

我が社を希望する学生さんには、入社したときから、国内外問わずどこにでも行くつもりでいてほしい。自ら枠を狭めずと、逆にキャリアが積めないということもありますからね。

グループ会社に、郵船航空、日本貨物航空などがあります。飛行機を利用して、空路で荷物を運ぶこと、トラックや鉄道を利用して内陸で荷物を運ぶことを組み合わせ、「複合一貫輸送」に取り組んでいます。お客様の荷物は、港から港まで運ぶだけとは限りませんからね。

みなさんの生活を支える仕事

まずは名前を知ってほしいです。実は皆さんが日常生活を営むのに、不可欠な会社なんです。紙の原材料や、電気・ガスのもととなる液化天然ガスを運んだり、皆さんの生活を支えていることを分かってほしいし、見てほしいですね。海外での仕事が多いというメリット

定年までに少なくとも一回は海外勤務があります。多い人は、三回、四回と。誰もに海外で働くチャンスがあります。ただ、海外というとやはり語学の問題はありますね。でも心配しないでください。入社時には喋れなくても、英語に対する恐怖心がなければ平気だと思います。自社ではネイティブの英語の先生による希望者対象の英語のクラスを開講しています。そこでは自分のレベルにあった希望のコースで学ぶことができます。

(浅野良子)

拔山 尚子さん お薦めの本
●夏目漱石著『こころ』

日本郵船
人事グループ人事チーム
ぬきやま なおこ
拔山 尚子さん

明るく活気あふれる東京・丸の内郵船ビル内人事グループで、学生へのアドバイスから採用の話まで幅広くお話を伺いました。



学生時代の経験と今のお仕事とのつながり、また、入社前と後では会社のイメージは変わりましたか？

あんまりないかな。実は日本郵船の名前すら知らなかったんです。就職活動をしていくうちに、私は運輸業界に興味があるんだということが分かってきて、陸海空の中で、たまたま海に出合ったという感じですね。

入社を決め手となったのは、OG訪問をした際に感じた会社の雰囲気。女性にも働きやすそうで、仕事をしやすい環境にあると感じた

ことは魅力でした。外航海運業という仕事柄、外国との接点が多い点も魅力の一つでした。思っていたとおりの会社でした。入社してみると雰囲気は本当に想像していたとおり、いや、それ以上に良かったですね。思った以上に海外とつながりのある仕事をしているのだと実感しました。入社前は外国との仕事という漠然としたイメージでしたが、本当はもっともっと濃かったんだと気が付きました。

会社の中での、拔山さんの主な仕事を教えてください。

採用を担当しています。一年間に、新卒の大学生を対象とした春、「キャリア採用」と呼ばれる、転職者を対象とした秋の二回あります。

ご自身の経験から、日本郵船を目指す学生に経験しておいてほしいことはありますか。

直接仕事に関係することではありませんが、うちの会社は社員数が少ないこともあり、若いうちから仕事を任せられることが多いので「今

までこんなことができたのだから、これからもやっていける」と思えるものを何かひとつ見つけてほしいです。クラブ、勉強、サークルなど、何でもいい。やり遂げることで自信につながると思います。

昔は人も運んでいたそうですが、現在はもう運んでいないのでしょうか？

昔は人も荷物も一緒に運ぶ貨客船が日本郵船のビジネスの中心でしたが、戦争で日本の船隊は壊滅状態になってしまったんです。戦後の復興期は海上の貨物輸送を中心に進めてきましたが、昔の客船のサービスをぜひ復活させたいというところで、1990年から、クルーズ事業を再開しています。1991年に竣工した「飛鳥」という客船は日本のお客様にも、クルーズの楽しみをぜひ味わっていただきたいと建造されたものです。

海外では、北米のお客様を中心に展開している「クリスタルシリーズ」と呼ばれる豪華客船(2003年7月に3隻目が登場)で客船事業を行っています。海上だけではなく、陸も、空も。

新入生に向けてメッセージをお願いします。

私のはのんびり大学時代をすごしてきたので、今思うと、たくさん時間があつたのにもったいないことをしたと感じます。社会人になると長期でのお休みはなかなか取れないので、社会人になつたらできないような経験は積極的に学生時代にこなしておくのが良いのではないかと思います。

勉強することも大切だとは思いますが、やはり時間があつたから、自分なりに趣味の幅を広げたり、また、何にでもチャレンジして、自分の手持ちのこまがひとつでも多くなるような時間の過ごし方をするのがいいのかなと思います。



略歴

1957年東京都出身
1980年ラジオ関東（現ラジオ日本）入社
制作部にて音楽番組を担当する。
1987年日経マグローヒル（現日経BP社）入社
1997年月刊誌『日経エンタテインメント!』創刊
2003年同誌発行人に就任
著書『エンタテインメント・キーワード』（共著：日経BP社）

アメリカへの興味と憧れでした。こんなちっぽけな島なのに物質的にはとても恵まれていて、日本の高級リゾートのような生活ができる。ラジオをつければたかさんのFMラジオ局から気持ちのいい音楽がたかさん流れてくる。今の若い人から見れば当たり前前のことも、当時の大学生にとっては衝撃だったわけです。すっかりアメリカにかぶれて、翌年の春休み

テーションがありました。収穫期になると、アメリカ本土から2000人くらいの大学生がバイトにやってきます。彼らを使う寮に泊まって、日系人の話を聞いていたのです。

は二カ月かけて全米をバスで旅行しました。

ですが、社会に出てみると足りないことがたくさんあることに気づきます。自分の体を使って経験する機会を持っていないと、人間の幅が出ます。

なぜ日系アメリカ人の話を聞こうと思ったのですか？

音楽が縦軸、社会学が横軸

イストラエルにいたこと、その後ヨーロッパへ旅行したこと。それまではアメリカが大好きでかっこいいと思っていました。だけどエルサレムやエジプトを訪れたり、ヨーロッパ各国から来た若者と一緒に仕事をしたりする中で、伝統の重みを実感したし、アメリカ的なものがけつして世界の標準ではないことがわかりました。同時にものを考える時間も十分にあつたので、自分は何をしたいのだろうとも思うようになりました。それが出版社への転職につながった気がします。

（平田未来）

品田 英雄さん お薦めの本
●司馬遼太郎著 『竜馬がゆく』

日経エンタテインメント！発行人
しなだ ひでお
品田 英雄 さん

東京・永田町にある日経BP社・別館の一室で編集内容だけでなく、広告や販売についてのお話を伺いました。



まず、新入生に向けてのメッセージをお願いします。

良い本をたくさん読んで、良い映画をたくさん観てください。その中には過去の人たちの経験が詰まっています。自分だったらどうするのか、シミュレーションしてください。それを自分の経験として取り込めると思います。

今までの仕事の中で印象に残ったものは何ですか？

大学生時代に印象に残った事を教えてください。

会社に入社してから、イストラエルのキブツという共同農場のようなところで三カ月ほど農作業をさせられることになりました。毎朝5時に起きて、鶏の卵を集めるという仕事です。毎日3000個くらい拾っていました。夏になると気温が40度を越えるのですが、そうすると鶏が次々と死ぬんですね。朝一番の死

大学時代は社会学に興味を持っていたので、世界中のいろんな人に会いたいと考えていました。



略歴

大学卒業後、食品会社に入社し営業、商品企画業務に携わる。夜間にて福祉を学び退社。精神病院デイケア勤務を経て、社会福祉法人プシケおおたかまた生活支援センターに勤務。2002年10月より現職。

今村 まゆらさん お薦めの本

- 『ルポ精神病棟』大熊一夫著（朝日新聞社）
- 『アンダーグラウンド』村上春樹著（文芸春秋社）
- 『約束された場所』村上春樹著（文芸春秋社）

です。決してご本人にはなれないですから「大丈夫」と安易に伝えられないこともこの仕事の難しいところかもしれません。

大学で学ばれたことで今活きていることはありますか？

大学生活を覚えて言うなら「楽しかった」。サークルはアメフトのマネージャーをしていました。部活に近かったので、そこでの上下関係といった体育会気質は染みついていながらもありません。それから社会に出た後でしみじみと感じますが、学生時代の友人はありがたいですね。

以前は違う職場で働いていたそうですが、転機のきっかけや、このお仕事に就かれた理由などを教えてください。

四年生大学を出て卒業した頃はバブルだったので内定をもらうのが大変な時代ではありませんでした。そういった時代背景の中で、「食べることが好き」という安直な理由で、一部上場の食品会社に入りましたが、そう甘くはありませんでした。

精神保健福祉法という法律では、統合失調症、うつ病、躁うつ病、アルコールや薬物などの依存症など精神疾患を有する人と定義されています。このような精神障害者の方に対して面談や電話で相談をお受けしたり、訪問したり、時には社会復帰のために一緒にハローワークに行ったこともあります。

相談された時に気を付けられていることなどはありますか？

まずは自分自身のメンタルヘルスです。イライラしている時はそのことをきちんと相手に伝えるようにしています。そうすることで自分自身の気持ちを整理できます。相談は一方通行ではないので、双方が理解しあい信頼感を築くプロセスも大事だと思います。この仕事は、共に考え悩むということが中心になっていると思います。自分の思いが関わってくるのでプライベートでの自分自身の考え方やあり方と切り離せないと感じています。

気を遣っているのは、ご本人に生かせる力をつけて頂くことです。苦手

な人との相談もありますが、とにかく話を伺い、寄り添う姿勢を大切にしたいと考えてはいます。

自分も一緒に悩んでしまっただけで解決が見付からなくなってしまうことはありませんか？

安直なアドバイスはしない
そうですね……。よく「どんなアドバイスをするのでいいですか？」と聞かれますが、ご本人が自ら選択し決定していくためにも、安直なアドバイスを敢えてしないことを意識しているかもしれません。

例えば「死にたい」という人に「死んだらいけない」と説得はしないことが多いです。「一緒に悩もう。考えよう」と提案していきます。ただ、人に話すことで自分の中で優先順位が見えてきたり、問題が整理できることは一般的にもあります。相談に来る人はあらかじめ答えが決まっています。後押しがほしかったりする場合もあります。ただその後押しも相談された方に対して、上から教える論ずようにならないように気をつけています。同じ目線に立つことが大切で、マラソンの伴奏者のようなイメージ

して相談出来る人をたくさん作ってください。

今村さんが仕事をやるにあたって目指している理想像、今後の課題などありますか？

自分自身が常に利用者の方々に対して率直に向き合っているのかを問いかけて続けたいと思っています。そして、相談される方が安心して相談できるソーシャルワーカーになりたいです。

最近の若い人は全体的に大人になるのが遅いと言われたりもしています。ドイツやUSAでは学校以外で社会的なシステムが若者を支援しています。こころの病などに何の関心も無い人が、「こういう時はあそこに行けばいいのよ」と思ってくれるようになるのが希望であり、今後の課題です。

三月にひきこもりをテーマに、支援団体の代表の方に来てもらいボランティア講座を開きます。若い人たちに精神障害を知ってもらうことをコンセプトにしていますので、皆さんにも是非参加していただきたいと思えます。
(倉井里沙)

社会福祉法人プシケおおた
かまた生活支援センター
施設長 / 社会福祉士・精神保健福祉士
いまむら
今村 まゆら さん

社会福祉士・精神保健福祉士の今村さんに精神障害者の人との付き合い方から、就職の話まで幅広くお話を伺いました。



社会福祉施設という事ですが、どんな方が施設を利用されますか？

基本的に、精神科に通院している人が利用しています。また、地域の方が相談に来たりもします。施設を居場所として使われる方も多くいますね。一般的にもネットカフェなどがある場所もありません。にぎやかな時には20人くらいにもなります。

今村さんは精神障害者の支援をしているようですが、どういったお仕事なのですか？



略歴
88年「F1地上の夢」にて新田次郎文学賞、「帰郷」にて直木賞受賞。

大事です。それに自分に合う大学もあれば、合わない大学もある。それはそれで影響を受けるものです。ただ、つまらない人間のいるところに行けば、自分もつまらない人間になります。学生時代には興味のあつたことをやればよいと思います。今勉強しないと、ほかに勉強するときはありません。社会人になれば本を読む機会もなくなりますよ。

「自身は書くことを仕事になさっていますが、書くことへの心構えはありますか。」
書くことは「自己表現」ではなく伝えること

最近の学生に「書くことはなんだと思う？」って聞くと、みんな「自己表現」だと答えるが、そうではありませぬ。書くことは、それ自体が目的なのではなく、自分が何かを伝えようとして行うことなんです。

だから、書きたい内容が相手に伝わって、初めて書いたことになります。相手に伝わらないと、書いたことになりませぬ。もし、相手に伝わらないのなら、伝えることがないか、伝える方法が間違っているかのどち

らかです。
では、今の大学生は人とコミュニケーションを取るのが苦手だという意見には賛成されませぬか。
そうじゃない学生もたくさんいると思います。ただ、どうしていいかわからない、どういう方法があるかわからない人が多いんじゃないかな。やりたいことがある人はいるはずだし、密かに何かをやっている人も多しと思ひます。
大学で創作文芸講座を教えているけど、確かに自分が思っていることが上手く言えない人もいます。でも、抱えているテーマは書けているし、問題は持っているんじゃないかな。若い人はこれからいくらかでも成長します。だから見ていても面白いんだ。
日本を知り、世界を知る
それから、最近では外国のことに興味を持つ学生が増えているように感じます。日本は勉強をした方がいいです。外国に行けば、外国人は日本のことを聞きたがります。その時に日本の文学や歴史のことを知らないと、いくら英語が使えても話が成り立ちませぬ。

「日本って何？」と考えると、外国との比較で日本人はこういう考えを持っているのだな、とか逆に自分に問題を持つようになってきます。自分の中に相手に伝える内容をたくさん持たないとダメです。コミュニケーションになりませぬ。
最後に大学生へのメッセージをお願いします。
恥ずかしがっていたら何もできません。恥をかかないように生きようとしたらダメです。知ったフリをして後から恥をかきよるも、やぶれかぶれになったときに何か生まれます。
それから、人と会った時にはとにかくしゃべることです。何かを得ようと思つたら、人から得ようと思わないこと。自分がまず与えないといけない。そうじゃないと人間関係が成り立ちませぬ。
相手に伝えようとすると、「与えよう」という気持ちが変わる。その気持ちを伝えることが大切だと思ひます。
(平田未来)

直木賞作家 えびさわ やすひさ 海老沢 泰久 さん

閑静な住宅街にあるマンションの一室で、直木賞作家の海老沢泰久さんにインタビューを行いました。普段着の飾らない様子で、ご自身の経験についてゆつくりと語って頂きました。



最近の学生はメールやパソコンでやりとりをしていますか、直木賞作家からみてどう思われますか。

パソコンで書くものは信用しません。個人的な意見だけれども、人間の考えるスピードと、手で書くスピードは同じだと考えています。パソコンで文字を打つと、考えるよりも文字を打つ方が早くなります。

思考より早く出てきた言葉に重みはありません。だから、パソコンで書いた手紙は読まないことにしています。その代わり、手で書いたものなら下手でも、その人が表れている

気がするので、何でも読みませぬ。

人と人のコミュニケーションの基本は、メールやインターネットよりも、直に会うことや話すことなのではないか。

人間は現象や流行が変わつても、本質は昔から変わつていません。ただ、時代に流されることはあります。昔は電話も何もないから、連絡したいと思つてもできなかった。だから、悩みながら本でも読んでいるしかない。すると、考えは深まります。連絡が取れないからずつと考えるんです。

現在の機械は、便利なようでも面白くありません。今はいつでも連絡できる代わりに、コミュニケーションを取つて仲間と共通の問題を見つけてることが不得意になつてきている気がします。手を挙げて何かをやらうという人がいないのかもしれないね。

大学時代にはどのような本を読まれましたか。

大学時代は、とにかくたくさん本を読みました。中でも、折口信夫

さんの本をたくさん読みました。大学時代は小説を書いていたから、学問はあまりしなかつたです。だけど、國學院大学には岡野弘彦さんという歌人の研究室があつて、そこに入り浸つていました。神道の問題や、日本人の昔からの生き方・考え方を学びました。日本人が「死」に関してどういう風に考えてきたのかを学んだのもその時期でした。
大学時代に学んだことが今に影響しているかどうかかわからないけれど、國學院という大学に行かなければ違う人間になつていたと思ひます。

「自身は大学生活を振り返られて、今の学生に学んでおいてほしいことありますか。」

学生時代は何でも学んでおいたほうがいいです。勉強でも友達でも、恋愛でも何でもしたほうがいいです。無駄なことは何もないし、それが人間を創つていきます。社会に出る上で重要な経験になると思ひます。
付き合う人で自分も決まる
学歴とかではなく、どういう先生に会うか、どういう友達に会うかが

“合格後”を考える視点がすべてを決める

法律資格・公務員
法科大学院



伊藤 真塾長

1981年東京大学法学部在学中に司法試験に合格。1995年、「伊藤真の司法試験塾」(現「伊藤塾」)を開塾。以後、司法試験に加え、法科大学院、公務員試験、法律関係の資格全般の受験指導を行い、多くの合格者を輩出している。

法学教育のプロフェッショナルが導く充実カリキュラム

伊藤塾は、21世紀を担う優れた人材の輩出することを目指し、1995年秋、司法試験の受験指導を皮切りに活動を開始しました。現在では、司法試験に加え、法科大学院入試、公務員試験、法律関連の資格試験で多くの合格者を輩出しています。一流の講義を提供することで塾生・受講生の方に最大限貢献すること、そして、ここで学んだ人々を通じてよりよい社会が築かれていくことを目標としています。

世の中には多くの法律や資格の専門学校があります。この塾の一番の特色は、単に試験に合格する手段としての指導ではなく、憲法と法律を使いこなせる人材を育成したいと考えていることです。

つまり「合格後を考える」ということです。

「塾」という呼び名も、まさに、日本と世界を変えていくような人づくりをしたいとの想いから、明治維新の志士たちを輩出した松下村塾や通塾にちなんで名付けました。

伊藤塾では、合格を「通過点」と考え、憲法と法律を中心とした教育を通して、社会で求められ、人々の幸せづくりに貢献できるような人材育成を行っています。

少しでも多くの方に憲法の理念と法の大切さを学んでいただき、この塾を巣立った方々に、世界の幸せの総量を少しでも増やすような仕事をしたいと考えています。

ぜひ、伊藤塾で最初の一歩を踏み出してください。

伊藤塾は全力で応援いたします。

司法試験・法科大学院入試

公務員試験

司法書士試験

社会保険労務士試験

宅地建物取引主任者試験

行政書士試験

紀伊國屋ブックセンターでお申し込みの場合
入塾料1万円免除

編集後記

「紀伊國屋書店ブックセンターニュース 第7号」は新入生が楽しく、有意義な学校生活を過ごすための手助けが出来ればと思い制作しました。新入生の皆様が少しでも新しく始まる学校生活に役立ててもらえれば幸いです。

最後に今号を発行するにあたって、多大なご支援、ご協力を賜りました関係各方面の皆様、力不足の私を支えてくれた編集スタッフに心から厚く御礼申し上げます。

(國學院大學3年 高橋 真吾)

紀伊國屋書店
ブックセンターニュース
第7号(2004・春)

新入生応援

発行：株式会社 紀伊國屋書店
〒150-8513
東京都渋谷区東3丁目13番11号
営業推進本部 営業企画部 笠井 満

企画・制作：キャレンハウス
制作進行責任者：田中 香奈子

編集：【編集長】
【キャレンスタッフ】 高橋 真吾 (國學院大學3年)
【編集担当】

増田 義仁 (同志社大学4年)
大黒 裕子 (お茶の水女子大学3年)
降旗 愛子 (日本女子大学3年)
平田 未来 (日本女子大学3年)
山下 陽子 (大東文化大学3年)
三好 秀矢 (同志社大学3年)
杉谷 友彰 (明治大学3年)
倉井 里沙 (國學院大學2年)
赤塚 聡 (小樽商科大学2年)
浅野 良子 (日本女子大学2年)
アドバイザー：上本 真心 (お茶の水女子大学・OG)
沖田 味佐 (聖心女子大学4年)
大出 友美 (明治大学4年)

デザイン：藤井 達也 (fujiidesign)
印刷：大野 年男 (Modern Art)
監修：小野 高道 (朝日新聞・be 副編集長)

※本誌の写真・記事を無断で転載することを禁ずる

ブックセンターニュース配布先

紀伊國屋書店ブックセンター(B.C)全国66店舗ネットワーク

高千穂大学 B.C	〒168-0061	杉並区大宮 2-19-1	(03)3315-4173
駒沢大学 B.C	〒154-0012	世田谷区駒沢 1-23-1	(03)3418-9177
学習院女子大 B.C	〒162-0052	新宿区戸山 3-20-1	(03)3203-1912
成蹊学園 B.C	〒180-0001	武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1	(0422)36-0360
帝京平成大学 B.C	〒290-0171	千葉市湊戸字大谷 2289-23	(0436)74-5567
東京情報大学 B.C	〒265-0072	千葉市若葉区谷町 1200-2	(043)236-0094
城西国際大学 B.C	〒283-0002	東金市求名 1 番地	(0475)53-0064
東京成徳大学 B.C	〒276-0013	八千代市保田字中台谷 2014	(0474)88-7118
麗澤大学 B.C	〒277-0065	柏市光ヶ丘 2-1-1	(0471)76-5512
常盤学園 B.C	〒310-0911	水戸市見和 1 丁目 430-1	(029)232-0008
いわき明星大学 B.C	〒970-8044	いわき市中央台飯野 5 丁目 5-1 いわき明星大学厚生館	(0246)28-6025
関東学園 B.C	〒373-0034	太田市藤阿久 200 関東学園大学食堂棟内	(0276)40-4012
城西大学 B.C	〒350-0248	坂戸市けやき台 1-1 城西大学新食堂棟内	(0492)87-3261
理化学研究所 B.C	〒351-0198	和光市広沢 2-1	(048)450-1000
帝京大学理工学部 B.C	〒320-0003	宇都宮市豊郷台 1-1	(028)625-8565
明星大学 B.C	〒191-0042	日野市程久保 2-1-1	(0425)99-7121
明星大学青楓キャンパス B.C	〒198-0052	青梅市長洲 2-590	(0428)25-5100
東京家政学院売店	〒194-0211	町田市相原町 2600	(0427)82-9340
昭和薬科大学売店	〒194-0042	町田市東五川学園 3-3165	(0427)24-0869
帝京大学薬学部 B.C	〒199-0106	神奈川県津久井郡相模湖町 寸沢風 1091-1	(04268)5-1745
帝京大学 B.C	〒192-0352	八王子市大塚 359	(0426)70-7022
帝京科学大学 B.C	〒409-0133	山梨県北都留郡上野原町八ツ沢 2525	(0554)63-4542
専修大学 B.C	〒214-0033	川崎市多摩区東三田 2-1-1	(044)933-0836
東洋英和 B.C	〒226-0015	横浜市緑区三保町 32	(045)922-5007
神奈川大学平塚キャンパス B.C	〒259-1205	平塚市土屋 2946 神奈川大学 平塚キャンパス厚生棟内	(0463)59-4010
東海大学 B.C	〒259-1292	平塚市北金目 11178 号館	(0463)50-1250
日本大学三島 B.C	〒411-8555	静岡県三島市文教町 2-31-145 日本大学国際関係学部 4 号館 1F	(055)989-6181
静岡理工科大学 B.C	〒437-0032	静岡県袋井市豊沢 2200-2	(0538)43-6125
常葉学園大学 B.C	〒420-0911	静岡県静岡市湖名 1-22-1	(054)263-3033
鈴鹿医療科学大学 B.C	〒510-0226	三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1	(0593)83-9799
南山大学 B.C	〒466-0824	名古屋市中区八雲町 136 南山大学学生会館コバン 3F	(052)837-5201
金沢医科大学 B.C	〒920-0265	石川県河北郡内灘町大目 1 丁目 1 番地 金沢医科大学臨床研究棟 1F	(0762)86-1874
大阪学院大学 B.C	〒564-0011	吹田市岸部南 2-36-1	(06)6318-2017
大阪薬科大学 B.C	〒569-1041	高槻市茶屋原 4-20-1	(0726)90-1097
兵庫医科大学売店	〒663-8131	兵庫県西宮市武庫川町 1-1	(0798)45-6446
武庫川学院 B.C	〒663-8137	兵庫県西宮市池開町 6-46 武庫川学院講義棟内	(0798)44-2180
大阪産業大学売店	〒574-0013	大東市中堀内 3-1-1 大阪産業大学内 16 号館 3F	(072)871-4396
大阪国際大学守口売店	〒570-0014	大阪府守口市藤田町 6-21-57	(06)6903-2550
帝塚山大学売店	〒631-0062	奈良市帝塚山 7-1-1	(0742)49-2533
大阪国際大学枚方売店	〒573-0117	大阪府枚方市杉 3 丁目 50-1	(072)858-0421
近畿大学(農学部) B.C	〒631-0052	奈良市中町 3327-204	(0742)43-0486
近畿大学梅の木 B.C	〒577-8502	大阪府東大阪市小若江 3-6-9	(06)6721-2660
近畿大学狭山 B.C	〒589-0014	大阪府狭山市大野東377-2(近畿大学医学部内)	(072)368-6190
大阪工大 B.C	〒535-8585	大阪市旭区大宮 5-16-1	(06)6958-2000
摂南大学 B.C	〒572-0074	寝屋川市池田中町 17-8	(072)829-2591
摂大枚方 B.C	〒573-0101	枚方市長尾峠町 45-1	(072)867-1644
大工大北山 B.C	〒573-0171	枚方市北山 1-79-1	(072)857-9515
姫路獨協大学 B.C	〒670-8524	姫路市上大野 7 丁目 2 番 1 号	(0792)22-0852
山陽学園 B.C	〒703-8501	岡山市平井 1-14-1	(086)272-2294
安田学園 B.C	〒731-0153	広島市安佐南区安東 6 丁目 13-1	(082)878-9351
近畿大学東広島 B.C	〒739-2115	東広島市高屋うめの辺 1 番	(0824)34-6884
広島文教女子大学 B.C	〒731-0222	広島市安佐北区可部東 1 丁目 2-1	(082)814-4611
広島市立大学 B.C	〒731-3162	広島市安佐南区沼田町大塚 151-5	(082)848-3413
山口大学 B.C	〒753-0841	山口市吉田 1677-1	(0839)24-6366
西日本工業大学 B.C	〒800-0344	福岡県京都郡刈田町新津 1633-1	(09302)5-2684
佐賀医科大学 B.C	〒849-0937	佐賀市鶴島 5-1-1	(0952)30-0652
福岡工業大学 B.C	〒811-0214	福岡市東区和白東 3-30-1	(092)608-5080
久留米工業大学 B.C	〒830-0052	久留米市上津町 2228-66	(0942)22-7073
筑紫女学園 B.C	〒818-0118	太宰府市石坂 2-12-1	(092)929-4602
九州共立大学 B.C	〒807-8585	北九州市八幡区自由が丘 1-8 自由が丘会館 2F	(093)602-3177
第一経済大学 B.C	〒818-0197	太宰府市五条 3-11-253	(092)929-0285
第一薬科大学 B.C	〒815-8511	福岡市南区玉川町 22-1	(092)512-9113
日本文理大学 B.C	〒870-0316	大分市一本 1727-162	(0975)93-0955
活水女子大学 B.C	〒850-0911	長崎市東山手町 1 番 50 号	(0958)28-6956
崇城大学 B.C	〒360-0082	熊本市池田 4-22-1	(096)323-1015
鹿児島国際大学 B.C	〒891-0144	鹿児島市下福元町 8850	(099)261-9951

全国の紀伊國屋書店主要店舗

- 一部のブックセンターでは同紙掲載分の検定・講座のお取り扱いができませんのでご了承下さい。
- 同誌掲載分の広告についてのお申し込みはブックセンターにて**特別価格**で受け付けています。
- 皆様からのご要望等がありましたら、ブックセンタースタッフにお気軽にお申し付け下さい。

【東京校】TEL 03-3780-1717 【中央大学前校】TEL 0426-78-5917 【高田馬場校】TEL 03-3204-0117
【水道橋校】TEL 03-5281-5377 【名古屋校】TEL 052-459-5888 【京都校】TEL 075-211-0601
【大阪梅田校】TEL 06-6372-0610 【サテライト校】TEL 03-3780-8484 【在宅校】TEL 03-3476-5580
伊藤塾へのご意見・ご要望は… 伊藤塾 塾生部 TEL 03-3780-1473(月～金 10:00～17:00)
各講座の詳しいパンフレットのご請求はホームページまたはi-modeサイトにて
ホームページ http://www.itojuku.co.jp (i-mode) http://www.itojuku.co.jp/i/

受講相談 受付中!!

各講座の詳細資料はホームページまたは校舎へのお電話にて請求できます。